

## 『コンフリクトの人文科学』投稿規定

### 1. 投稿資格

大阪大学大学院人間科学研究科ならびに文学研究科の教員、研究員、連携研究者、後期課程大学院生、グローバル COE「コンフリクトの人文科学国際研究教育拠点」の各種研究教育事業で発表や報告を行った方、その他編集委員会が適当と認めた方が投稿できます。

### 2. 審査

原稿を掲載するか否かは、編集委員会で審査の上決定します。原稿は採否に関わらず返却しません。

### 3. 原稿形式

マイクロソフト・ワードで読み込み可能な形式で作成してください。写真・図表は、執筆者がパソコンで作成・編集したものを使用します。

### 4. 原稿送付について

印刷済み原稿 1 部とともに、原稿のデータファイルを記録した各種電子メディア（FD、MO、CDR 対応・Windows ならびに Macintosh 対応）を、編集委員会宛に郵送してください。

〒565-0871 吹田市山田丘 1-2 大阪大学大学院人間科学研究科

グローバル COE 事務局 コンフリクトの人文科学編集委員会

TEL 06-6879-4046 FAX 06-6879-4049

### 5. 原稿の区分と枚数

本誌には、広い意味でコンフリクト（紛争、葛藤、軋轢、摩擦）にかかわる「論文」「研究ノート」「調査報告」「資料と通信」「書評」の投稿区分を設けます。「資料と通信」は、研究集会や国際会議の報告などを対象にしています。また、原稿の区分ごとに、下記のとおり、枚数制限（400 字詰原稿用紙 1 枚換算）／文字数制限を設けます。いずれも本文、注、参照文献、図表を含めた枚数です。

論文	80 枚以内（32000 字以内）＋欧文要旨（300 語以内）
研究ノート	50 枚以内（20000 字以内）＋欧文要旨（300 語以内）
調査報告	50 枚以内（20000 字以内）
資料と通信	20 枚以内（8000 字以内）
書評	20 枚以内（8000 字以内）

## 6. 構成

論文	題名、日本語要旨、キーワード、目次、本文、注、参考文献、欧文要旨
研究ノート	題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献、欧文要旨
調査報告	題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献
資料と通信	題名、本文、注、参考文献
書評	編・著者名、書名、副題、版数、出版地、出版社、刊行年、総頁数、定価を明記する。

付記、謝辞等は、必要に応じて、本文の直後に挿入してください。

## 7. 日本語要旨

400字以上800字以内とします。

## 8. 投稿者氏名・連絡先

原稿本体とは別（別紙・別ファイル）に、氏名（和文・英文）・連絡先（住所・電話番号・電子メールアドレス）を明記してください。

## 9. 様式

- 1) 原稿は横書きとします。句読点は「、」「。」を使用してください。
- 2) 使用言語は日本語とします。題目・キーワードに英訳を付記してください。
- 3) 本文中の見出しは、章は1、節は1.1、項は1.1.1の順とします。
- 4) 文献引用は、本文中に（著者姓 刊行年：頁数）と表記するか、あるいは後注にて示すこととします（括弧は全角、スペースは半角）。

### 本文中に表記する場合の例

・・・である（栗本 2008： 65-66）

栗本（2008： 65-66）は・・・と指摘している。

（Koizumi 2005； ヒベイロ 2007）

（栗本 2006； 2008） 【同一著者による複数の論文・著作を参照する場合】

### 後注で表記する場合の例

本文中で引用する文献について、書誌情報を後注で示す場合には下記例に倣って表記し、「前掲書」「op. cit.」の使用を避けてください。「同書」「同頁」「ibid」は、著者名を併記する等、指示文献が明確に分かるように表記してください。また、後注で示した場合でも、末尾に参考文献一覧を付して下さい。繰り返し同一論文を引用する場合、略称を使用することを認めます。

著書の場合 編著者『標題』（出版地ないし出版社）発行年、巻数、頁。

日本語著書の場合、「出版地」を省略してもよい。

論文の場合 著者「標題」『雑誌名』巻号（発行年）頁。

- 5) 注は後注（本文の後、参考文献一覧の前）とし、通し番号 1)、2)をつけてください。
- 6) 図表の題目は、図の場合は図の下に、表の場合は表の上につけてください。
- 7) 引用・参照した文献は、文末に一括して記載してください。

## 10. 参考文献の記載方法

参考文献は、使用言語ごとに区分して一覧表示してください。日本語文献の配列は、著者名（姓）の50音順とします。日本語以外の言語によって書かれた文献の配列は、著者名（姓）のアルファベット順とします。同一著者の文献が複数あれば刊行年順に列挙してください。

### 11. 参考文献の記載方法の例

#### 雑誌論文

栗本英世

2006 「戦後スーダンの政治的動態——包括的平和協定の調印から一年を経て」『海外事情』54(4): 77-92。

Koizumi, Junji

2005 Pluralizing Anthropology. *Anthropology News* 46(7), 9.

#### 論文集所収の論文

栗本英世

2008 「教育に託した開発・発展への夢——内戦、離散とスーダンのパリ人」石塚道子・田沼幸子・富山一郎編『ポスト・ユートピアの人類学』pp. 45-69、京都：人文書院。

ヒベイロ, グスタボ・リンス

2007 「複数のグローバル化——代替的な（ネイティブに代わる）トランスナショナルな過程と行為者たち」久保明教訳、小泉潤二・栗本英世編『第3巻 トランスナショナルリティ研究』（「インターフェイスの人文科学」研究報告書2004-2006）pp. 49-108、大阪：大阪大学21世紀COEプログラム「インターフェイスの人文科学」。

Malkki, Liisa H.

2001 Figures of the Future: Dystopia and Subjectivity in the Social Imagination of the Future. In E. Kurimoto (ed.) *Rewriting Africa: Toward Renaissance*, pp.239-261.

JCAS Symposium Series 14. Osaka: JCAS, National Museum of Ethnology.

#### 単行本

栗本英世

1996 『民族紛争を生きる人々——現代アフリカの国家とマイノリティ』京都：世界思想社。

James, Wendy, Donald L. Donham, Eisei Kurimoto and Alessandro Triulzi (eds.)

2002 *Remapping Ethiopia: Socialism and after*. Oxford: James Currey.

#### 翻訳書

ギアツ, クリフォード

2002 『解釈人類学と反=反相对主義』小泉潤二編訳、東京：みすず書房。

ウェブサイトから情報を引用する場合は、基本的には上の文献の書誌情報に準ずるが、その他にもサイト名、アクセス年月日、URL 等、アクセスおよび検索に有用な情報を記入する。

2008年2月14日制定  
2009年8月24日改定